

主 な 異 常 気 象

災 害 区 分 発 生 月 日	気 象 概 況
令 和 6 年 能登半島地震 1 月 1 日	石川県能登地方珠洲市周辺では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっていた。2023年5月5日にはマグニチュード(M)6.5 の地震（最大震度6強）が発生し、以降、地震活動がさらに活発になっていたが、時間の経過とともに地震の発生数は減少していた。 このような中で、2024年1月1日16時10分に、石川県能登地方を震源とする M7.6 の地震が発生し、石川県輪島市（わじまし）及び志賀町（しかまち）で震度7、七尾市（ななおし）、珠洲市（すずし）、穴水町（あなみずまち）及び能登町（のとちょう）で震度6強を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から九州地方にかけて震度6弱～1を観測した。また、石川県能登で長周期地震動階級4を観測したほか、北陸地方を中心に東北地方から中国・四国地方にかけて長周期地震動階級3～1を観測した。気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から6.0秒後の16時10分16.0秒に緊急地震速報（警報）を発表した。また、16時12分に新潟県、富山県及び石川県に津波警報を、北海道日本海沿岸南部から山口県にかけての日本海沿岸に津波注意報を発表した。その後、16時22分に石川県能登を大津波警報に、山形県、福井県及び兵庫県北部を津波警報に切り替え、北海道太平洋沿岸西部、北海道日本海沿岸北部及び九州地方の日本海沿岸に津波注意報を発表した（1月2日10時00分に解除）。この地震により、石川県の金沢で80cm、山形県の酒田で0.8m（注1）の津波を観測するなど、北海道から九州地方にかけて、日本海沿岸を中心に広い範囲で津波を観測した。また、現地調査の結果、新潟県上越市船見公園で5.9m（遡上高）などの津波による痕跡が認められた。この地震は地殻内で発生し、発震機構（CMT 解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。 （注1）巨大津波観測計による観測のため、観測単位は0.1m。

○出典：令和6年度災害時自然現象報告書（気象庁）